

ひたむきに ひたすらに

県政報告

決算委員会委員長・公社事業対策特別委員長

公社 姫路市産業視察

公社 兵庫県/但馬空港

公社 委員長審議

平成28年(2016)
新年号
VOL.206
緑区

決算委員長

西へ東へ
走る走る

決算 委員会審査

決算 大久保浄水場

決算 小児医療センター

TV出演/決算委員長

決算 美園地区視察

後援会事務所



原山・尾間木・三室・美園

埼玉県議会議員

高橋 まさお

〒336-0932 さいたま市緑区中尾270

PHONE 048-873-4369

FAX 048-873-8489

http://www.marchan.jp



夕陽
赤い夕陽
そういえば最近見ていないぞ
熱い焼芋
そういえば最近食べていないぞ
苦しい涙
最近よく心で流している
そうだ
みんなで焼き芋を手
真つ赤な夕陽を見に行こう
七転八起



家族の声

遺跡調査

今、大学の理工学部に通っています。もともと数学を追求したかったのですが、気が付いたら建築科でした。ここ数年、父に連れられ、各国の遺跡調査をしていまして。だんだんと興味が増えています。



高橋まさお次男 高橋正成(20)

家族の声

元氣な後ろ姿

僕は米国留学後、父が創業した株式会社、防災士等の資格を持ち耐震や防災関係を得意としております。父をみて感心する事は、365日、休まず働いている事です。性分といえど、すごい事だと思えます。今後とも、父の元氣な後ろ姿を見つめて働いて参ります。

高橋まさお長男 高橋佑輔(29)

- 浦和市中尾(現・さいたま市緑区)生まれ原山幼稚園・尾間木小・東浦和中浦和高南を経て 中央工学校建築科卒
- 一級建築士・宅地建物取引士被災建築物応急危険度判定士
- 小中学校PTA会長・市P連会長・商店会長社会教育委員・女性政策推進協議会県都市計画審議会・県社会福祉審議会
- 現職 自治会長・消防団員(副分団長)建築士事務所・宅地建物取引業顧問ボーイスカウト育政会顧問・他
- 議会 決算委員長・公社事業対策委員長
- 政策集団 自民党育政会(埼玉県議9人)

●大きな実績「県議2期～3期」

- H23 グローバル人材育成 ■H24 学校いじめ対策
- H25 米国からの花水木 ■H26 がん緩和ケア
- H27 大学付属病院誘致 ■H28・・・

埼玉県議会議員
高橋 まさお
県政110番
お気軽にご相談ください



県政活動資料

県政報告会・緑区第一支部大会



-12月5日(土)-
会場は、地域の皆様であふれた。「新たな価値」を巡り、熱い口調となる。参加の皆様は熱気の汗で光っていた。
一講 演一
①新たな時代
②地方政治家
③地方の創生

冒頭挨拶 高橋まさお県議会議員

語る語る熱く語る
～もう止まらない！



新藤前総務大臣

南第十一区第一支

武笠前市議会議員

石岡市議会議員

村井来議院議員

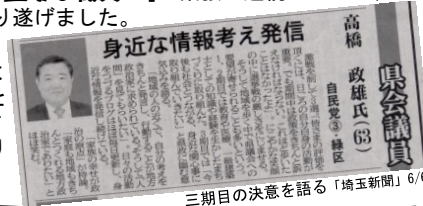
県議会通信

決算委員会

＜10月～12月＞

昨年、埼玉県議会の決算委員会委員長に就任しました。10月から2ヶ月間、埼玉県の平成26年度決算を審査しました。「重要な職責！」で緊張の連続でしたが、仕事をやり遂げました。

県民の為
今後とも大いに知恵と汗を流して働いて参ります。



高橋政雄 決算委員長「決算委員会室」を歩く。

三期目の決意を語る「埼玉新聞」6/6

新年のご挨拶

新たな年を迎えて、地元地域の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。旧年中はお陰さまで、全力で政治活動を続けることが出来ました。心から感謝申し上げます。昨年、県議三期目の活動に邁進、決算委員長として平成二十六年決算の審査をいたしました。今、混迷とんの世界、バリ同時多発テロなどイスラム圏の紛争が拡大、日本でも隣国との難しい問題を抱えています。私達の安全、国の防衛には、相手に対して毅然とした態度が必要。しかし、したたかな粘りの外交を忘れてはいけません。本年も素敵な埼玉県を目指して、全力で働きます。

- 一、医療構築元年
- 一、教育復興元年
- 一、経済振興元年
- 一、誇り埼玉元年

平成二十八年 正月

県議会議員 高橋政雄



地域政治家と情熱

地方の身近な地域政治家の選挙に際して、政党・団体等所属も重要だが、より大切な事は、その政治家本人の経歴や思想・信条などを通して個人資質も問わなくてはならない。当然、選挙前の日頃からの政治活動が大切である。広報紙や集会などの情報発信と共に、出来れば政治家本人が地域住民の皆さんと少しでも近い距離に身を置く必要がある。



泥かきボランティア

新たな日本の価値①

日本の風景や心が変化した。それは、4年前に起きた東日本大震災の惨状を体験した瞬間だ。4月の県議選を戦い終え、食料・生活・宿泊の必要品を持って、震災現場のボランティア作業に従事した。日本が変わった。少なくとも日本の人、価値が一変。大震災以来、日本の各地で台風・豪雨・竜巻・火山噴火など天変地異が続いている。新たな大災害が来ない事を祈るばかりである。今、世界を眺める。強大な軍事・経済力の米国に中国が迫りつつある。日本はアジアの盟主として常に地域をリードしてきた。それが、変わろうとしているのだ。国内を眺める、自然への畏敬の念の確証、東日本大震災を境に人々の心・価値観が変わったと思う。



泥かきボランティア

長い伝統と文化を繋いだ日本、新たな価値を創るべき時が来た。

春

市立

高橋まさお、市立病院の建設を毎年さいごに強く要望して、そして昨年末、建て替へ計画が決定し、平成31年の開院をめざしてスタートしました。同病院は市運営の唯一の公立病院で重要な役割を果たしてきました。身近な医療施設は、地域住民みんなの願いです。



高橋政雄



高橋政雄

東日本大震災の津波被害「宮城県」



高橋政雄

春

いよいよ大学病院

埼玉県は、人口に占める医師・看護職員数が共に全国最小となっている。特にさいたま保健医療圏は県内病床比で既存病床数が最も不足しています。そんな中、県・市民の強い要望「医療サービス体制整備」の為に、高橋まさおは、高度医療の大学病院と医師養成を行う「医学部大学院」の県内誘致に向けて活動を行ってきました。病院の病床（ベット）数が大学病院誘致に欠かせない事が判明し、昨年、厚生労働省に対して埼玉県病床増加の要望を開始したのでした。新藤前総務大臣や医師の古川参議院議員など、国・県の自民党議員皆様の連携を頂き、病床数増加を勝ち取ることが出来ました。結果、順天堂大学が緑区美園に病床八百床の附属病院と医学部設置の申請を埼玉県にしたのです。（新聞）県議会議員 高橋政雄



「埼玉スタジアム」

通信205号

通信203号

通信198号

通信197号